

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス あまね		公表日		2026年3月24日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	改善方法
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		12	2	医療児と発達障害児との療育空間、スペースの確保	更に十分なスペース確保ができるよう検討していく。導線も考慮する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		12	2	医療児は看護職員2人が付き、入浴介助を行なっている	入浴の子どもが多い日は午前、午後に分けて入浴をするなどの時間配分を考え、職員の負担軽減をしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		13	1	・床面に視覚的にわかりやすいようにテープで色分けしている。活動スペースがわかりやすい ・コンセントの差し込み口の位置が使いにくく延長コードを使用している為、引っ掛かりの原因になりやすい	差し込み口を増やし改善していく (増設予定)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。		13	1	・生活空間は清潔にできている ・子ども達の活動に合わせて取り組みやすい空間であると感じる	継続
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		13	1	・カーテン等での仕切りができる ・生活空間でオムツ交換をしている	重心児のオムツ交換時にはマットなどで仕切り対応を行っているが専用の仕切りがない。オムツ専用の仕切りを用意しすぐに対応できる環境を整えていく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		9	5	昨年は職員の入れ替わりが続いた為できなかった	記入用紙の内容を見直し、目標設定と振り返りがしやすい様式に変更していくことで広く職員が参画できるようにする
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		13	1		評価表を集計し、職員ミーティングで内容把握・周知している

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3	定期的なミーティングがない	・第3土曜日の17時~18時をミーティングの日と決め実施していく ・意見箱を作り、寄せられた内容をミーティング内で話し合い業務改善に繋げていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	4		療育内容・様子を見てもらう機会を設けていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	4	研修を受ける機会があれば受講したい	施設内での内部研修を充実させていく (症状や特性に応じた研修)
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14			継続
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画書を作成しているか	14			継続
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		職員が共通理解できるよう皆で共有している	継続
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14			継続
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14			継続
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14			継続

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1		継続
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14			継続
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14			継続
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		・業務分担・役割分担について確認、支援している ・子ども一人ひとりに合わせた支援を行えている	継続
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14		気づきは療育終了時に話し合い共有している	継続
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14		・日誌をつけることで振り返り・改善できている ・日誌を通して、子供の成長に繋がる支援・改善に繋ぐことができている	継続
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	1	モニタリングは定期的に行い、計画を職員間で見直し・共有し、支援している	継続して、職員間での情報共有・個別支援の見直し箇所を話し合い周知していくことで統一した支援を提供していく
関係機関や連携者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	2	子どもの普段の様子を把握している者が会議に参画している。会議の内容は会議録に記録し職員間で周知するように努めている	継続
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	2		保育分野では市との共有を行なっている。医療・介護分野で支援できる体制を強めていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			継続
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1		直接 小学校や支援学校（小学部）とのやり取りは少ないが、送迎時等、関われる機会がある時は情報共有を行なっている。また、保護者からの申し出があった時など適宜対応し、相互理解を図っている

関係機関や保護者との連携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取り組み等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	4	センターには、その都度見学に行かせてもらう機会がある。今後、助言や研修等の機会を設けてもらえるようにしていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	10	4	公園遊びやお散歩・外でのイベント等、地域の子どもと触れ合う機会を設けている。また、併設の保育園児とはイベント以外でも交流の機会がたくさんある
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14		・送迎時に事業所での様子を伝えている ・フィードバックを行い、子どもの様子をお伝えしている
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	4	ペアレント・トレーニングの機会を設け情報提供をしていきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14		継続
	36	児童発達支援計画書を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		継続
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14		継続

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		事業所内での関わりの中で気になった点などを保護者と共有し、対応について共通理解を持つようにしている	継続
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	2		クリスマス会の後に保護者同士が談笑できる場を設けているが、今後は重心児と発達障害児合同での父母会を設けていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			継続
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14		インスタグラムを用いて活動内容を発信している	継続
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	1	シュレッダーがない	小さなシュレッダーしか無く使いにくかった為 新しく購入した
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14			継続
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	5		事業所の行事自体が少ない 今後は地域住民に広く知ってもらえる行事を検討し事業運営していきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	4	マニュアルの周知・発生時の対応などを徹底する	マニュアル等の管理場所を職員間で周知していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	4	年2回（火災・地震）の避難訓練を行なっている	BCP策定はしており、定期的な訓練も実施している。課題等を明確にし職員間で周知していく。また、訓練内容を保護者に伝えていく

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14		事前にてんかん発作の有無の確認をしており、有の場合は詳しく聞き取りを行ない用紙に記入後、職員間で周知している。万が一の時の為に座薬など、処方箋と共に預かっている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14		アレルギーのある場合はお菓子類等は出さず代替している	継続
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2		安全計画を再考し・設備等の不備がないか・非常時対応できるか等、環境を見直していく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	2	安全確保について連携は図れるようにしている	家族への周知を再度行っていきたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	2	ヒヤリハット記入用紙はあるが、新しい職員が知らなかった	ミーティング等で全員が周知し、活用していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	3	研修は行なっているが新しい職員が研修を受けていなかった	法定研修を皆で周知出来るように機会を設けていきたい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	2	現在 身体拘束を必要としている児童はいない	契約時にお渡しする同意書に身体拘束に関するチェック項目を追加する